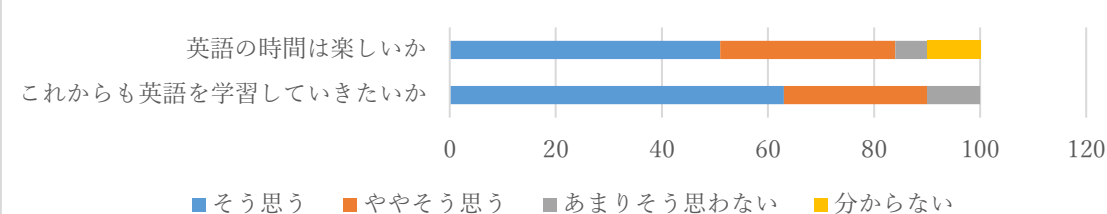


令和7年度特別の教育課程の実施状況等について

1 自己評価結果

令和7年度の学校評価アンケートでは、「ALT との英語の授業や英語の DVD の時間は楽しい」という質問に対し、「そう思う」、「ややそう思う」と回答した児童は、全体の 83.1% でした。子どもたちは動画視聴や ALT との交流を通じて、楽しみながら英語活動に取り組み、英語を聴いたり発音したりすることに親しむことができていることがうかがえます。また、「これからも英語をもっと学習していきたいですか。」という項目に対し、全体で 85% の児童が「そのように思う」「ややそのように思う」と回答しており、英語学習への期待度の高さが分かります。

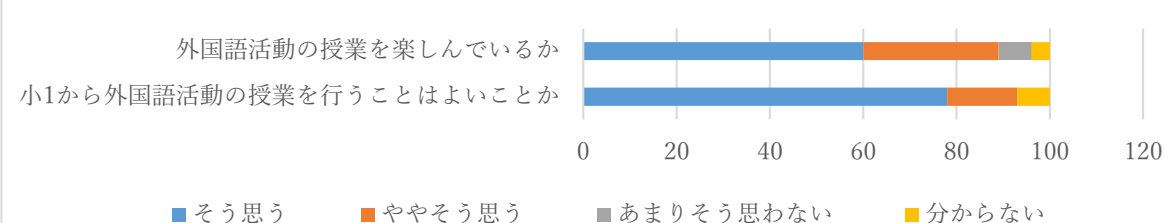
【資料1】児童のアンケート結果



2 学校関係者評価結果

本校の英語（外国語）活動について、「授業を楽しんでいますか」という質問に対して、「そう思う」、「ややそう思う」と回答した保護者は、全体の 89% でした。また、「小学校1年生から外国語活動を行うことはよいことだと思いますか」という質問に対して、「そう思う」、「ややそう思う」と回答した保護者は、全体の 93% でした。このことから、英語への抵抗感が少ない低学年の時期から、英語に親しむ機会が設定されていることに好感をもつ家庭が多いことがうかがえます。また、外国語活動を望む家庭は多く、「引き続き充実した活動を継続してほしい」との声もありました。

【資料2】保護者のアンケート結果



3 まとめ

アンケート実施や授業の様子から、児童は、英語の動画視聴やALTとの授業を楽しみにしていることが分かります。

低学年の児童は、動画の中のALTの体の動きをまねながら、楽しそうに歌っています。繰り返し視聴することで、会話の意味も推測しながら理解することができているようです。

中学年以上は、ネイティブの英語を聞き、テンポよく英語を口ずさむなど、進んで発音練習に取り組んでいます。また、授業の後半でのゲーム活動では、誰もが楽しんで取り組むことができています。低学年のうちから、英語に親しむ機会を設けることで、3年生から始まる外国語学習へのモチベーションにつながっていることが分かります。

引き続き、矢東タイムや外国語活動の授業を継続して行っていくことで、外国の文化への興味・感心や英語を話したり聞いたりすることへの意欲を高め、コミュニケーション能力の素地を養っていきます。そして、子供たちの将来にわたって、生きて働く言語能力を育んでいきたいです。